

TOTO

洗面化粧台

LDLA075・090・100・120型

商品の機能が十分に発揮されるように、この組立・設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

1) 安全上のご注意

- 取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
 - この説明書では、商品を安全に正しく取り付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
- 使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	 は、してはいけない「禁止」内容です。		 は、必ず実行していただく「強制」内容です。
---	--	---	---

- 取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

 **警告**

浴室など湿気の多い場所へ設置しない
漏電により感電するおそれがあります。

 禁止

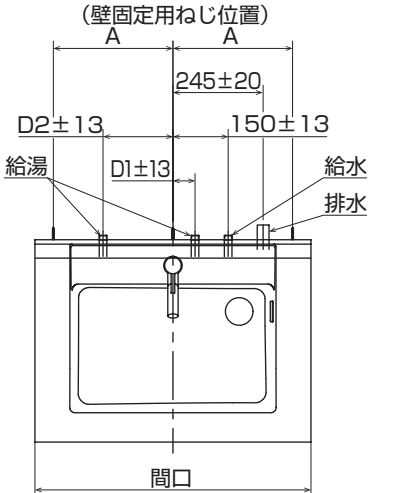
水道・電気工事は、関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者・指定業者」が行う
火災や感電および水漏れの原因になります。

 必ず実行

2) 設置寸法

- 特殊品の場合の工事寸法は、商品図を確認してください。
- 壁排水トラップは付属していませんので、必要な場合は別売品のL0159をご購入ください。
- 止水栓は付属していませんので、必要な場合は下記品番の別売品をご購入ください。

間口	750	900	1000	1200
A	325	350	400	500



(壁固定用ねじ位置)

給湯 給水 排水

【水栓の種類】

一穴シングル水栓 (プルアウトタイプ)	
一穴シングル水栓 (上記以外)	
二穴シングル水栓 (シャワータイプ)	

止水栓品番	数量
LT524CD6U	2個

【壁給水の止水栓品番】

止水栓品番	数量
LT524CD6U	2個

【樹脂配管の品番】

樹脂配管品番	数量
TSAS4BJZA	2個

【床給水の止水栓品番】

止水栓品番	数量
LT4BD7U	2個
LT4BD7U	各1個
LT4BD17U	2個
LT4BD17U	各1個

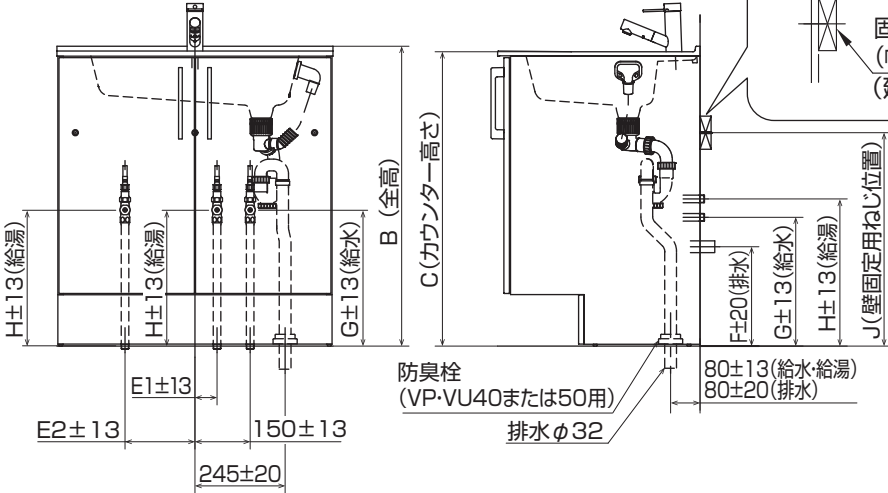
カウンター高さ (750mm)	水栓種類	止水栓品番	数量
一穴シングル水栓	なし	給湯・給水 LT4BD7U	2個
	あり	給湯 LT4BD7U	各1個
二穴シングル水栓 (シャワータイプ)	なし	給湯・給水 LT4BD17U	
	あり	給湯 LT4BD17U	各1個
		給水 LT4BD16U	

【樹脂配管の品番】

樹脂配管品番	数量
TSAS4BJZA	2個

【床給水の止水栓品番】

止水栓品番	数量
LT4BD12U	2個
LT4BD12U	各1個
給湯 LT4BD7U	
給水 LT4BD7U	2個
給水 LT4BD17U	各1個



商品裏面から木さんまでは13mm以下

固定用木さん (幅90×厚み30) (建築工事)

防臭栓 (VP・VU40または50用)

排水φ32

80±13(給水・給湯)
80±20(排水)

150±13

245±20

245±20

150±13

E1±13

E2±13

H±13(給湯)

H±13(給湯)

G±13(給水)

B (全高)

C (カウンター高さ)

J (壁固定用ねじ位置)

※止水栓接続はR1/2となります。

7) 取り付け手順(つづき)

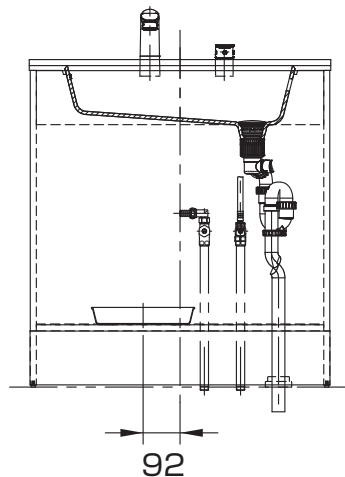
⑥ 水栓金具の給水・給湯接続

- 給水・給湯の接続は、水栓金具に付属の施工説明書に従い接続してください。
- 【「きれい除菌水」生成器をセットする場合】
- 給水の接続は、「きれい除菌水」生成器に付属の施工説明書に従い接続してください。

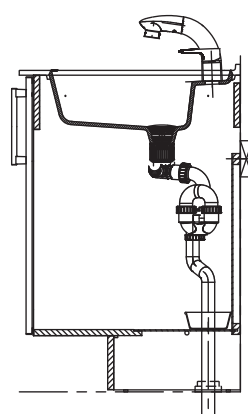
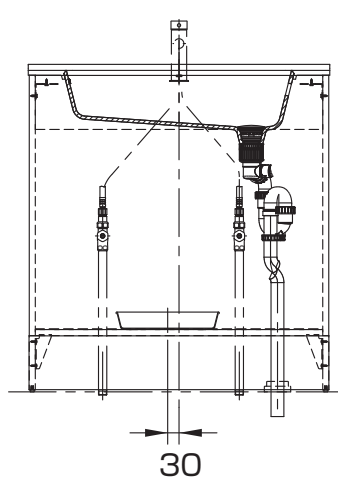
⑦ 水受けトレイの取り付け

- 取り付けについては、水栓金具の施工説明書をご参照ください。

【二穴シングル水栓の場合】



【一穴シングル水栓・プルアウトタイプの場合】

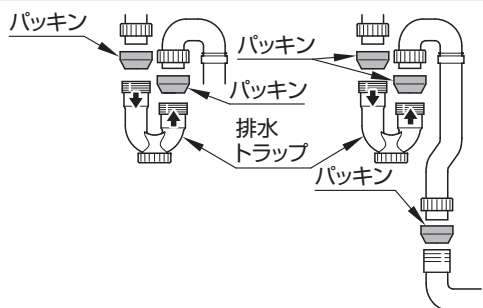


⑧ 排水トラップの取り付け

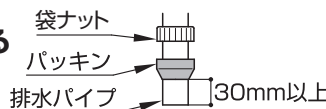
⚠ 注意



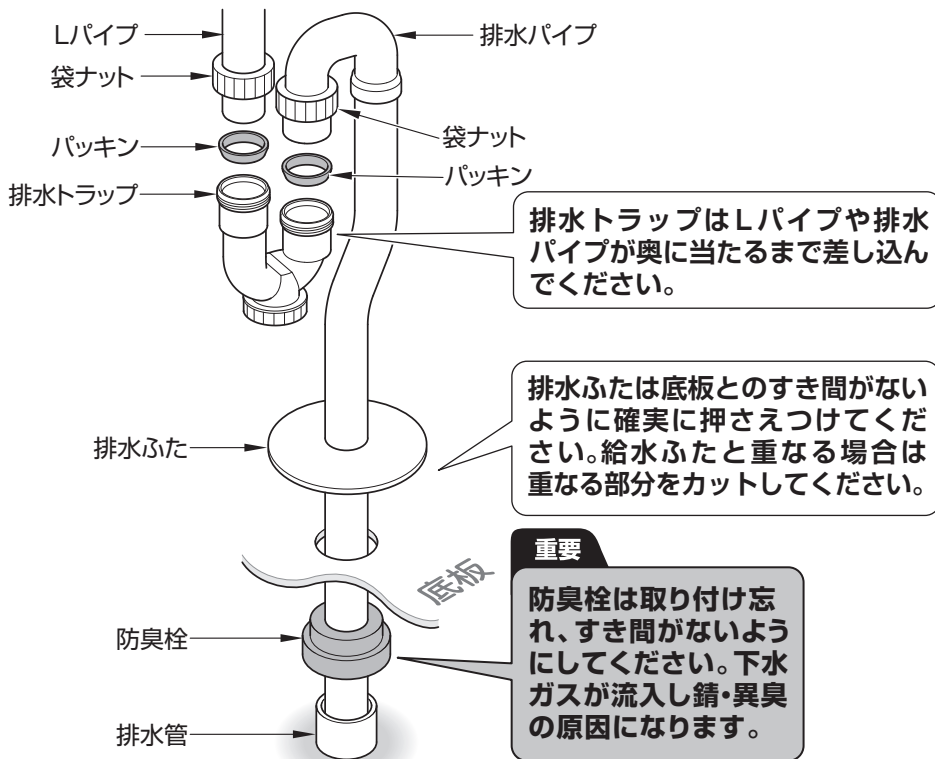
必ず実行



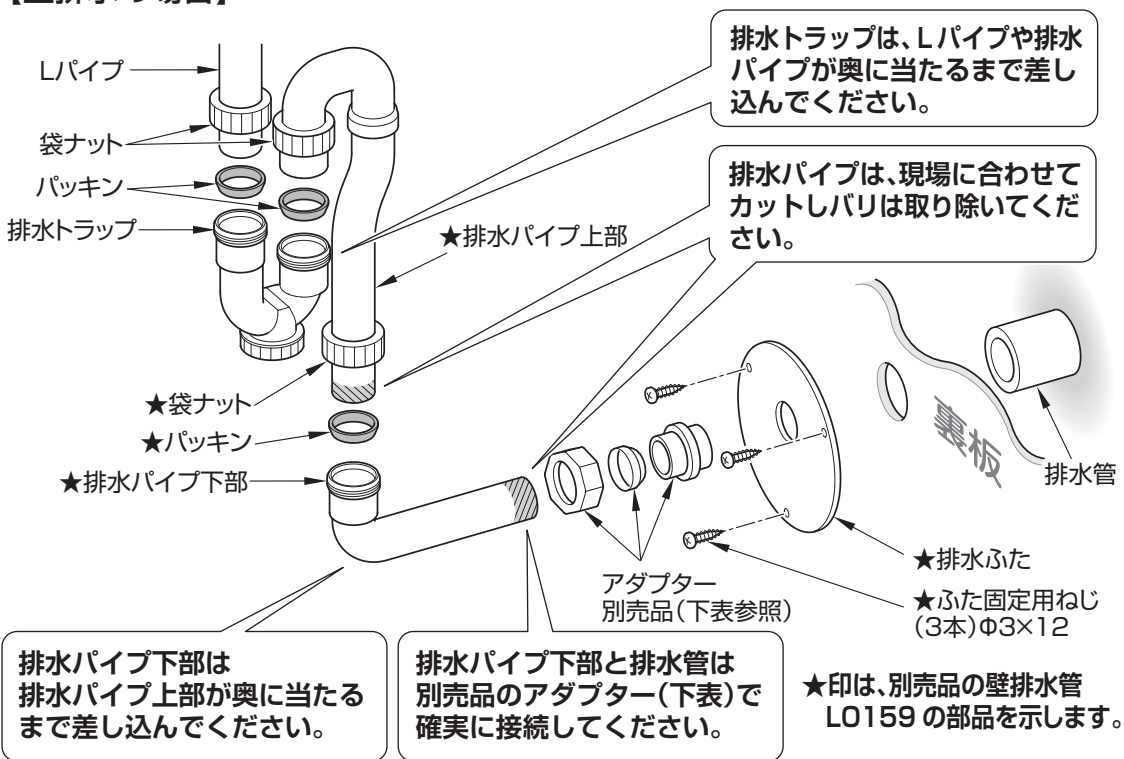
- 排水トラップの矢印マークと排水の流れる方向を合わせる
- パッキンの方向に注意する
- パッキンは右図の位置に取り付ける
- 樹脂製の袋ナットは手で確実に締め付け、工具は使用しない
水漏れし、家財などに損害を与える原因になります。



【床排水の場合】



【壁排水の場合】



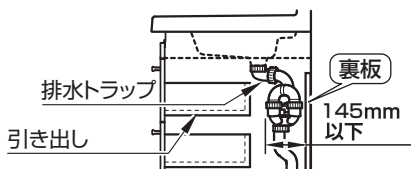
- 排水トラップが下図の範囲に納まっているか確認してください。

⚠ 注意



必ず実行

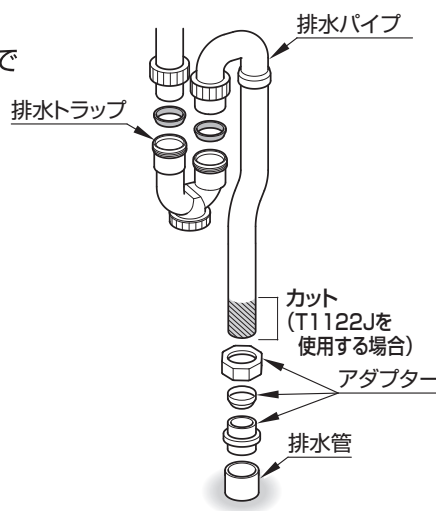
排水トラップを下図の範囲に設置し、引き出しが当たらないか確認する
水漏れし、家財などに損害を与える原因になります。



- 集合住宅・高層住宅の場合、排水管と排水パイプを別売のアダプター（下表）で確実に接合してください。

排水管サイズ	アダプターの種類
R1 1/4	T1122 (鋼管用)
30用	T1122J (塩ビ管用)
40用	LO48 (塩ビ管用)
50用	LO49 (塩ビ管用)

- ※上記品番はアダプター・パッキン・ナットのセット品番です。
- ※T1122Jを使用する場合、排水パイプをアダプターの奥まで差し込めるように下端のカットしてください。



⚠ 注意



必ず実行

接着剤は必ず、アダプターと排水管の両方に塗布する
片側のみ塗布した場合、水漏れし、家財などに損害を与える原因になります。

8) 壁やトールキャビネットとの処理方法

●カウンターと壁またはトールキャビネットの突き合わせ部をシリコン系シール材(現場調達)でシールしてください。

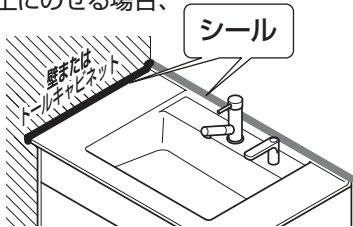
※バックパネルなど、シールパッキンの付いた部材をカウンター上にのせる場合、正面部はシリコン系シール材不要です。

⚠ 注意



必ずシールをする

シールをしないと突き合わせ部から水が浸入し、必ず実行 キャビネットや壁・床を傷める場合があります。



9) 取り付け完了後の確認と清掃

⚠ 注意



扉と引き出しの調整は電動工具を使わないで、ハンドドライバーを使用して必ず手回しで行う

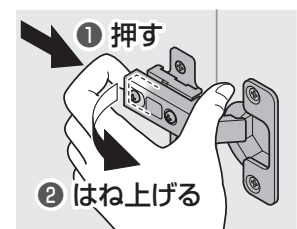
必ず実行 破損の原因となり、使用中に落下してけがをするおそれがあります。

重要

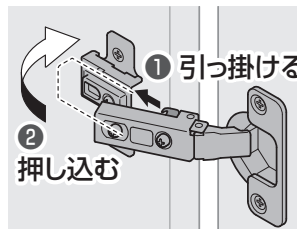
扉取り付け後は、扉と扉の左・右・上・下のすき間が均等、扉表面が面一となる様に調整する

〈開き扉の場合〉

【取り外し】



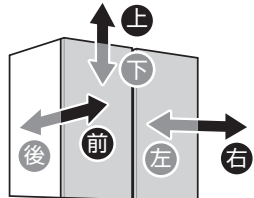
【取り付け】



【調整方法】

〈前後調整〉

調整ねじを回して調整



〈上下調整〉

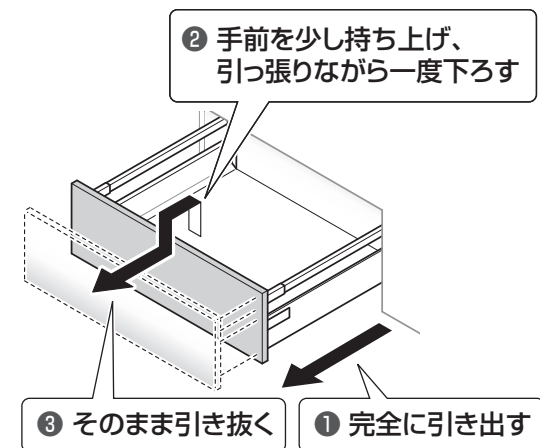
調整ねじをゆるめて両手で支えながら調整し、調整後ねじを締める

〈左右調整〉

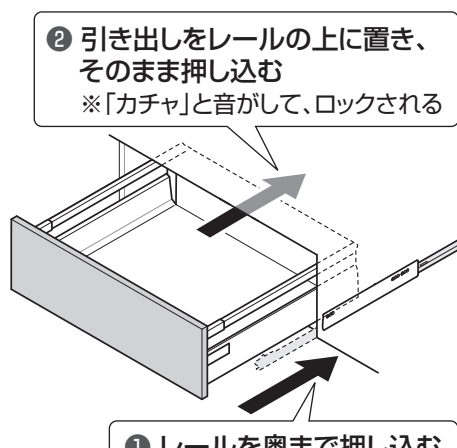
調整ねじを回して調整
※回し過ぎに注意
(ねじが脱落(破損)し、調整できなくなります。)

〈2段引き出しの場合(つづき)〉

【取り外し】



【取り付け】

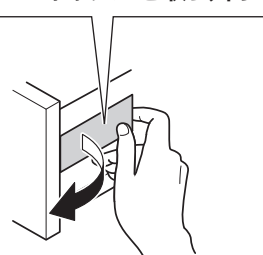


〈2段引き出し前板の調整のしかた〉

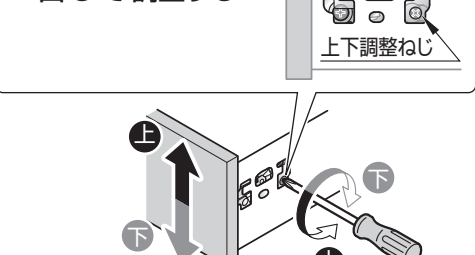
引き出し底板裏面にアングルが付いているので必ずねじをゆるめてください。

〈上下調整〉

① 引き出し側面のキャップを取り外す

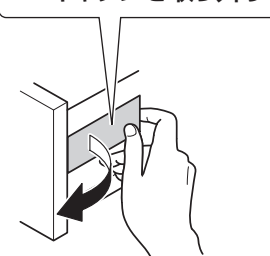


② 上下調節ねじを回して調整する

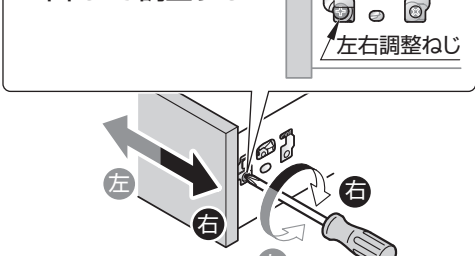


〈左右調整〉

① 引き出し側面のキャップを取り外す

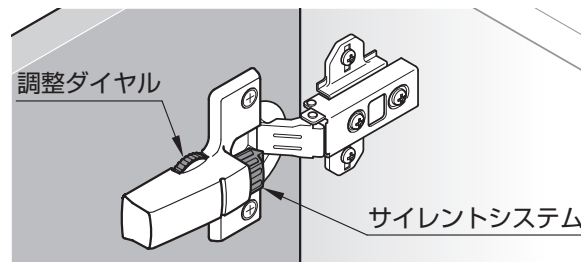


② 左右調節ねじを回して調整する



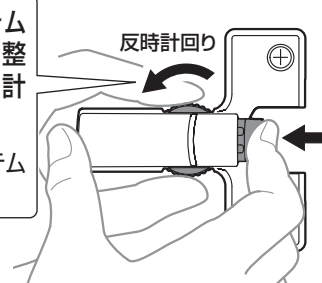
〈扉を閉じるときのスピード調整のしかた〉

※上側の丁番のみ



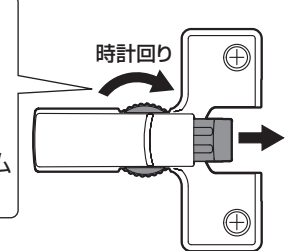
【速く閉める】

サイレントシステムを押しながら調整ダイヤルを反時計回りに回す
※サイレントシステムが縮みます。



【遅く閉める】

サイレントシステムを押さずに調整ダイヤルを時計回りに回す
※サイレントシステムが伸びます。



※本図は左扉の調整方法を示します。右扉でも回す方向は変わりません。

⚠ 注意



丁番調整後、上下調整ねじをしっかりと締め付けてゆるみのないことを確認する

必ず実行 扉が落下してけがをするおそれがあります。

〈2段引き出しの場合〉

⚠ 注意



引き出し取り付け後は必ず引き出しを2～3回最後まで押し込み、引き出しを引き出した状態で扉を下に押ししても引き出しの背板が持ち上がらないことを確認する

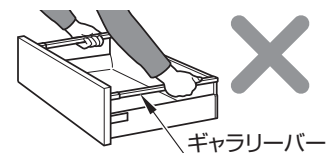
必ず実行

正確に取り付けられていないと、使用中に引き出しが外れてけがをするおそれがあります。



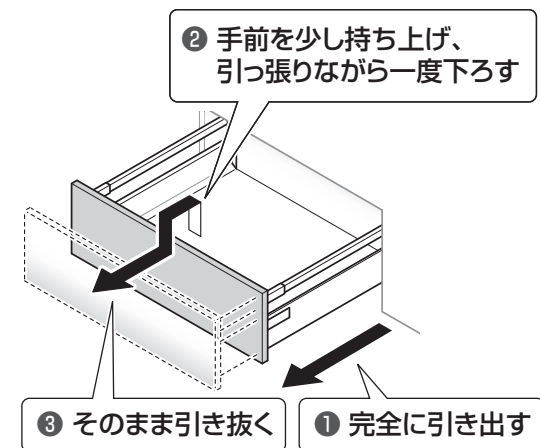
禁止

ギャラリバー部分を持たない
ギャラリバーが外れて引き出しが落下し、けがをするおそれがあります。

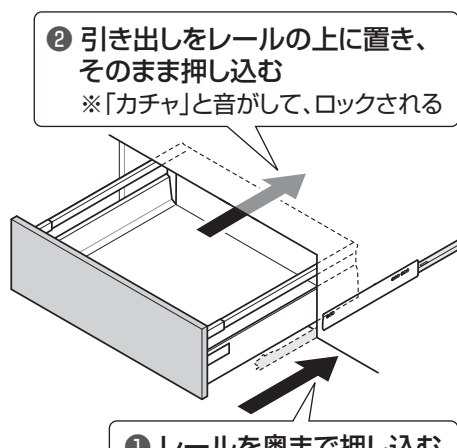


〈2段引き出しの場合(つづき)〉

【取り外し】



【取り付け】

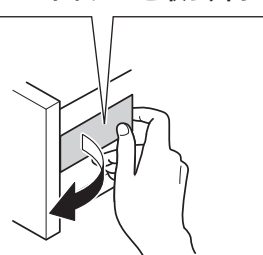


〈2段引き出し前板の調整のしかた〉

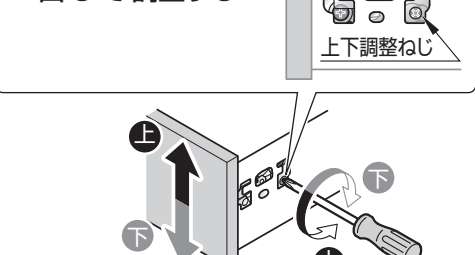
引き出し底板裏面にアングルが付いているので必ずねじをゆるめてください。

〈上下調整〉

① 引き出し側面のキャップを取り外す

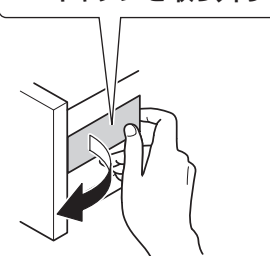


② 上下調節ねじを回して調整する

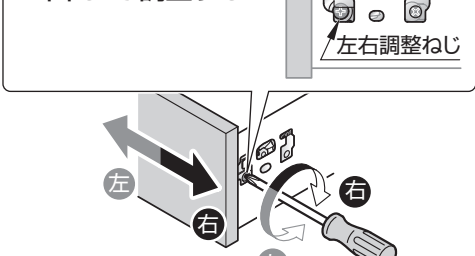


〈左右調整〉

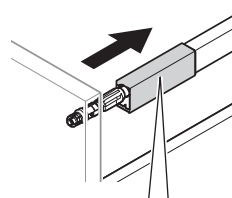
① 引き出し側面のキャップを取り外す



② 左右調節ねじを回して調整する



〈傾き調整〉



① カバーキャップをキャビネット奥行き方向にスライドさせる



② 中の部品を回転させて調整する

- キャビネットが壁に確実に固定されているか確認してください。
- 通水し、配管内部の詰まり、配管接続部の水漏れ、ボウル内に汚れのないことを確認してください。
- 商品についた汚れ(プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む)は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤を付けてふき上げ、最後にからぶきしてください。

重要

※有機溶剤(シンナー・アセトンなど)の使用は表面の変色・変質の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどで遮ってください。
- 扉や前板に傷つき防止用保護シートが貼られている場合は、シートをはがしてください。

10) 寒冷地タイプの水抜き

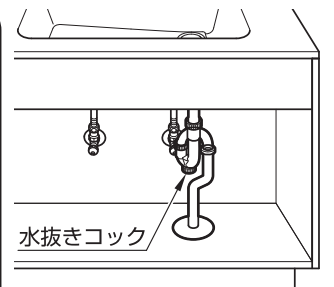
- 「きれい除菌水」生成器の水抜きは、専用の施工説明書を参照ください。

⚠ 注意



必ず実行

- 凍結のおそれがある時期に取り付けされた場合は、別途設備された水抜き栓の操作と併せて、次の要領で水抜きをするお客様にも水抜き方法をご指導ください。
- 水抜きコックは工具は使用せず手で確実に締め付ける
水漏れの原因になります。



【排水トラップの水抜き】

- ① 水を受ける容器を置き、排水トラップの水抜きコックを開けてください。
- ② 水抜き後は、必ず水抜きコックを手締めで確実に閉じてください。
ハンドシャワーを元の位置にもどしたあと、水抜きトレイを元の位置にもどす

